

タイトル (活動概要)	76 いい詩だなあ、好きだなあ! (読書アニメーション)	アプローチ (関連する力)		「自分づくり」② ③ ④ 「仲間づくり」⑬ ⑮	
タイミング (実施時期)	通年	活動 場所	教室	所要 時間	40～50分
対象学年	幼・小低・小中・ 小高 中1 ・ 中2 ・ 中3 ・ 高	対象 規模	15～20 人が適当	活動 場面	国語・総合
活動の ねらい	<p><背景>画一的な価値観にとらわれ、自分の感じ方に自信をなくしたり、人の感じ方を認められなかったりする子どもたちが増えている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分なりの感じ方をもち、他人とは感じ方が違うことに気づき、尊重する ・ 詩をじっくりと味わう中から詩の多様性を発見する 				
準備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古今東西の詩の中から7～8編選んで作者名はわざと伏せて記し(基準:時代が偏らない・あまりに有名な作品は避ける・様々な傾向の作品を取り混ぜる等)、それぞれにA,B,C・・・と整理記号をつけて印刷したシート人数分 ・ 筆記用具、黒板(一覧表を書くので、前もって模造紙に書いておいても可) ・ ふり返しシート 				
学 習・活 動		支援の観点・留意点等		資料等	
1 導入					
好きな詩を選んで友達と交流し合おう					
2 主活動		<ul style="list-style-type: none"> ・ お互いに顔を見合って話がで きるように座る ・ 紙の余白などに好きな順に記 号を書く ・ 一番については理由を考える ・ 教師は黒板に一覧表を貼る (グループでするときは、グル ープごとに司会と記録用紙を 用意する) ・ 発表順に(発表者の名前は書 かない)Aが2位、Bが6位・・・ というように記入していく ・ ひとそれぞれの感じ方のよさ を認められるようなふり返し を賞賛する 		詩のプリント 順位一覧表 ふり返しシート	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 配られたプリントの詩を読む ・ 読んだ詩に、自分が好きだと思順に番号をつける ・ グループまたは全員の前で、各自が好きな詩の順番を言いながら、1位をつけた詩について、なぜいちばん好きなのかを発表する ・ それぞれの詩の作者名を聞く ・ 活動して気づいたことについて出し合う 詩を読むということについて 友達の好きな理由を聞いて 					
3 ふり返し					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 配られたプリントの詩を読む ・ 読んだ詩に、自分が好きだと思順に番号をつける ・ グループまたは全員の前で、各自が好きな詩の順番を言いながら、1位をつけた詩について、なぜいちばん好きなのかを発表する ・ それぞれの詩の作者名を聞く ・ 活動して気づいたことについて出し合う 詩を読むということについて 友達の好きな理由を聞いて 					
配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ あらゆる時代の詩を選ぶためのすぐれた文献リストを作成しておくとい ・ 小中高生が理解できることを前提にすると明治以降のものを多く扱う 				

参考; M・M・サルト=著 宇野和美=訳 カルメン・オンドサバル+新田恵子=監修 「読書へのアニメーション75の作戦」 柏書房、2001年

「いい詩だなあ、好きだなあ！」ふり返りシート

年 組 名前 ()

1 楽しく活動できましたか。(番号に○をつける)

4	3	2	1
-----	-----	-----	-----
できなかった	あまりできなかった	まあまあできた	よくできた

2 自分の好きな詩を見つけることができましたか。

4	3	2	1
-----	-----	-----	-----
できなかった	あまりできなかった	まあまあできた	よくできた

3 自分なりの感じ方を友達につたえることができましたか。

4	3	2	1
-----	-----	-----	-----
できなかった	あまりできなかった	まあまあできた	よくできた

4 友達の意見を聴いて、自分と友達の感じ方のちがいを知ることができましたか。

4	3	2	1
-----	-----	-----	-----
できなかった	あまりできなかった	まあまあできた	よくできた

5 今日の活動で、気がついたことや感じたこと、思ったこと、学んだことがあったら書きましよう。
